

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 斐太高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月31日(金) 14:00~16:00
- 3 開催場所 斐太高等学校 有斐会館 会議室  
開催にあたり、高等学校DX加速化推進事業により整備している探究ルームの見学を実施した。
- 4 参加者
 

	会 長	折敷地 淳	前育友会長	
	副会長	水口 浩美	高山市国府支所次長	
	委 員	門 希和子	前育友会役員	
		坂井 歩	高山自動車短期大学学長	(欠席)
		清水 大地	株式会社清水弥生堂専務取締役	(欠席)
		廣田 早苗	有斐会副会長	
		丸山 純平	高山市議会議員・飛騨ジモト大学事務局	
		丸山 泰正	育友会長	
		山下 八恵子	育友会役員	
	学 校 側	中村 浩一	校長	
		深澤 千文	事務部長	
		足立 宏	教頭	
		駒澤 誠二	教務主任	
		日比野 恭一	進路指導主事	
		富田 喜友	生徒指導主事	
		清水 潤	特別活動部長	(欠席)
		中村 香月	探究活動推進部長	

## 5 会議の概要(協議事項)

## (1) 今年度の学校運営の報告と評価について

## ア 研修について

意見1：自主的な教員研修がうまく実施されている。教員の年齢を超えた研修など相乗効果がある研修を続けるとよい。

意見 2 : 研修などで教員の時間が割かれている。生徒と向き合う時間の確保はできているか。教員のメンタルヘルスは問題ないか。

⇒個別研修は希望者で実施し負担を考慮している。朝の欠席当番や朝会の廃止、会議のオンライン化など ICT 活用による業務負担の軽減を進めている。また、ストレスチェックの全体分析では、ストレスの感じにくい職場環境となっていた。

#### イ 進路支援の外部連携について

意見 3 : 岐阜大学が責任大学となっている「地域ラボ」は、講師の派遣等を行っている。積極的に活用するとよい。

#### ウ いじめ事案に対する対応について

意見 4 : いじめ事案を発見した場合、対応マニュアル等により早期対応は可能か。

⇒法に則って対応している。毎年、県教育委員会の研修を受け、全職員が迅速に組織で対応できるようにしている。

#### エ 情報モラルについて

意見 5 : 情報モラルについて、今年度は生徒がグループを作り主体的に考える活動を実施したということであったが、予算を付けて最新情報を持つ専門家から重点的に研修することも必要である。

#### オ 教育相談対応について

意見 6 : 今年度は、教育相談事案に対してスクール相談員と教員とが連携し対応できたと報告があったが、スクール相談員が変わっても今年度と同様のレベルで対応できるように、教育相談スキルの継承をすることが大切である。

#### (2) スクール・ミッションについて

第 2 回学校運営協議会で意見交換後、県教育委員会と協議した「スクール・ミッション」の修正案を校長が説明。その後、修正案は承認された。

### 6 会議のまとめ

- ・ 第 3 回学校運営協議会では、今年度の取組についての報告を受け、学校の課題や提言等について委員が互いに意見を出し合い、次年度に向けた学校運営方針について共有した。
- ・ 本校の存在意義や期待されている役割、目指すべき学校像を示す「スクール・ミッション」について承認が得られた。
- ・ 各委員には 3 回にわたる学校運営協議会において、委員より学校運営に関する様々な提言をいただいた。校内の情報共有を進め、改善すべき点は改めていきたい。

会議終了後、生徒会から提案された生徒指針の変更案について、協議する生徒指針検討会議に、学校運営協議会委員 2 名が参加し、他の委員にはオブザーバーとして参加していただいた。